

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

No. 9 2021年8月4日 JR東労組

いま**現場**で何が起きている？

シリーズ③

現場の実態は関係ないの！？

ある駅で

企画業務を担う時間が設けられました。

出改札の窓口を閉めて、呼び出しボタンを設けてバックヤードで企画業務を行うというものですが、担当助役が一人で考えたものでした。

その結果、目の不自由なお客さまには呼び出しボタンの場所がわからない、車イスのお客さまは呼び出しボタンに手が届かない等の問題が発生しました。



現場現実・実態を踏まえないまま、一人で机上で考えて実施に踏み切ってしまった事象ではないでしょうか。

職場現実にも含まれますが、お客さまのご利用実態も踏まえなければ職場の運営に影響が出ることは当然だと思います。

働きやすい職場をつくり出すためには、職場現実を踏まえ、職場の声に基づいていくことが重要だと考えます。そして、一人で考え、悩むことなく、多くの仲間と議論をすることで、風通しの良い働きやすい職場をつくり出していきましょう！

**風通しの良い働きやすい職場にするため
職場の仲間と議論をつくり出していこう！**